



# 大船渡水産振興センター「復興版」

平成28年12月25日発行 第48号

## 1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成28年11月30日現在、管内の県営漁港関係施設にかかる災害復旧工事の進捗率は、61.7%となっております。

(平成28年11月30日現在)

	災害査定 (H27再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁港	243	35,885,340	237	32,486,131	31,073,422	86.6	185
漁港海岸	11	35,171,371	11	17,417,264	12,547,829	35.7	2
漁場	2	498,880	2	498,880	498,880	100.0	2
合計	256	71,555,591	250	50,402,275	44,120,131	61.7	189

完

### さっちゃんNEWS part1

「さけの子さっちゃん」はスマイル130

プロジェクトに取り組んでいます。

「130万人誰もが笑顔に」♪



出展：国土地理院撮影の空中写真（2013年撮影）



[平成28年11月]

### <六ヶ浦漁港の平成23年災害復旧工事の終了>

「東日本大震災」により被災した六ヶ浦漁港(陸前高田市広田町)では、海岸保全施設の防潮堤工事と、新たに整備する避難誘導施設工事の影響範囲を除いた、漁港施設に係る部分の災害復旧工事が終了しました。

なお、同漁港・袖野地区では新設する防波堤及び突堤の工事、また、横崖地区では1月18日～20日の低気圧被害と台風10号被害からの復旧工事が引き続き行われております。(写真は、六ヶ浦漁港の本港)



★★★\_スマイル130(いちさんまる)プロジェクトについて\_★★★  
「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。



## 2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況

### (1) 共同利用施設・養殖施設の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。



「さけの子さっちゃんは、  
大船渡水産振興センターの  
PRキャラクターです」



事業年度	施設名	事業主体
平成 26 年度	荷さばき施設	完
	冷凍庫	大船渡湾冷凍水産加工業協同組合
平成 27 年度	漁具倉庫	完
	定置番屋	広田湾漁業協同組合 越喜来漁業協同組合

### (2) 大船渡魚市場の水揚げ状況 (平成 28 年 1 月から 11 月末累計)

出典：いわて大漁ナビ

平成 28 年(震災後)	平成 27 年(震災後)	平成 20 年から平成 22 年の平均(震災前)	前年比(H28/27)	震災前平均との対比
数量(㌧)	金額(千円)	数量(㌧)	金額(千円)	数量(%)
30,973	4,790,138	35,044	5,141,595	88

11月は主に、サンマ(3,709t、459,199千円)、サバ類(1,207t、87,486千円)、アキサケ・オス(155t、58,135千円)、アキサケ・メス(118t、148,986千円)、ブリ(107t、22,345千円)、貝類(8t、13,034千円)等が水揚げされています。

### さっちゃん NEWS part2

#### <サケ海産親漁使用緊急発動>

一般社団法人岩手県さけ・ます増殖協会及び岩手県定置漁業協会では、秋サケ資源の早期回復に向け、ふ化放流用の種卵を確実に確保するために、11月4日から全県で海産親魚を使用する緊急発動を行いました。

発動を受けて、気仙管内でのふ化場では、定置網に入ったサケを生かしたまま、ふ化場に運搬し、飼育池で成熟させた後に採卵しています。



サケ親魚の入ったタンクをトラックに積込むところ



ふ化場の飼育地で成熟を待つサケの親魚



#### <カキ最盛期>

管内のカキ養殖漁家では、カキ剥き作業が最盛期を迎えており、むき身となったカキは、築地市場等に加熱用として出荷されます。大きいサイズは価格が10kgあたり3万円位になるそうです。



『復興版』に関するお問い合わせ先  
沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター

[担当 平田]

岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階  
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229  
E-mail:BG0004@pref.iwate.jp